

令和年度 海外インターンシップ報告書

長野大学 企業情報学部 企業情報学科 3年

実習期間	令和5年 8月23日(水) ~8月31日(火)	8日間
実習企業	南信精機製作所様	
実習地	ベトナム	

1. 実習目的

Chapter1 purpose

海外の様々な企業に触れ、日本とは異なるビジネス環境や文化、経営手法などを学ぶことで、自分の考え方や視点の幅を広げ、よりグローバルな視野で物事を捉えることができるようにすること。

2. 実習先概要

Chapter2 summary of company

南信精機製作所

3. 実習日程

Chapter3 schedule

- 8/23(水)
工場見学
- 8/24(木)
①転勤候補者に日本語教育
②成形現場にて現場実習
- 8/25(金)
郵船ロジスティクス様訪問
カットライ港見学
- 8/26(土)
ホーチミン市内観光
- 8/27(日)
ホーチミン市内観光
- 8/28(月)
①自働組立現場にて現場実習
②BECAMEX 様訪問
ヒンズオン都市開発の現場見学
- 8/29(火)
①現場実習
製品検査・測定実習
②FUJIY 様訪問

4. 実習内容

Chapter4 laboratory

同上

5. 実習の成果（成長した事）

Chapter5 result

8月24日の実習では検査道具を用いて不良品検査を行った。概算何百個も検査をしたが、不良品が無く製品を形成する機会の正確さに驚いた。また、転勤候補生への日本語教育もさせていただき、言語の壁があるという中でコミュニケーションをとるのは大変だと感じた一方でやりがいも感じた。

8月29日の製品検査、測定実習では専用の道具を用いて、製品の組み立てに取り組んだ。部品が非常に小さかったため非常に困難だったが、初めて行う工程に楽しさを感じた。また、品質管理部門の方に様々な話を聞いた。特に国際標準化機構に関しての話は、非常に有益であり、帰国したら自身でも少し勉強してみたいと強く思った。

全体を通して海外インターンシップでは、異なる文化や価値観に触れる機会があった。私は、海外の仕事や文化について学び、グローバルな視野が広がったと感じている。また、海外インターンシップでは、英語を話す機会がたくさんあった。積極的にコミュニケーションをとることで、7日間ではあるが英語力を向上させることができたと考える。

6. 今後の課題

Chapter6 problem

特になし

7. 海外インターンシップに行こうか迷っている学生に一言

Chapter7 Advice

迷う余地なし

8. 謝辞

Chapter8 Address of gratitude

株式会社南信精機製作所 有賀様 田島様、西村様、並びに従業員の皆様

この度は、海外インターンシップに参加させていただき、誠にありがとうございました。私は、このインターンシップを通じて、貴社で働く社員の方々の仕事に対する姿勢や、海外の様々な仕事について学ぶことができ、非常に貴重な経験となりました。

特に、社員の方々の仕事に対する熱意と責任感、海外の仕事におけるグローバルな視野、異文化理解の重要性が印象に残りました。

また、インターンシップ期間中は、社員の方々の温かいご指導とサポートのおかげで、安心して業務に取り組むことができました。

業務外でも面倒を見ていただき大変お世話になりました。

この経験を活かし、今後も自分自身を成長させ、社会に貢献できる人材になれるよう、精進してまいります。

改めて、この度は貴重な機会をいただき、ありがとうございました。